

令和5年度事業報告

今年度の重点事業について、「地域日本語教育の体制づくり」では日本語教師を対象とする人材養成研修を新規に実施したほか、日本語支援者養成講座の受講者に対して講座後に現地情報交換会や年度を超えた受講者とのオンライン交流会等を開催し活動促進を図りました。「外国人相談」ではこれまでの県西・県南地域のほか、新たに鹿行地域での出張相談会を追加開催しました。「国際理解教育」については、今年度留学生親善大使の登録者数が約100名となり、アジア出身者が中心ではあるものの県内の学校等で母国紹介等を行う講師が充実しました。外国人が増す中、日本人と外国人との相互理解、異文化理解による地域活性化を推進しました。

1 共に目指す多文化共生社会づくり

(1) 外国人が安心して生活できる環境の整備

① コミュニケーション支援

外国人が生活していく上で県民としての様々な情報が得られるよう、多言語によるホームページ、フェイスブックや外国人支援図書など多様な媒体により情報提供を行いました。

- ・対応言語：日本語、英語、中国語、ポルトガル語、タイ語、タガログ語、スペイン語、韓国語、インドネシア語、ベトナム語、シンハラ語（11言語）

また、地域社会でのコミュニケーション支援としての日本語学習機会の充実を図りました。

◇多言語でのホームページ、フェイスブックなどにより情報を提供しました。

- ・情報発信件数（多言語） 270件
- ・ホームページアクセス数（日本語及び多言語） 135,503件

◇外国人の日本語学習の支援

（公財）茨城県国際交流協会日本語教育アドバイザー派遣事業により、日本語教授法講座を実施するボランティア日本語教室を支援しました。

- ・アドバイザー登録者数 22名
- ・派遣期間：令和5年8月1日～令和6年2月28日
- ・派遣先：12団体（初級講座7団体、レベルアップ講座5団体）
- ・参加者数：235名

◇地域日本語教育の体制づくり事業（受託）

多文化共生社会の推進、外国人に選ばれる県づくりのため、県内どこにいても日本語学習の機会が得られる環境を構築しました。

ア 地域日本語教育推進員の設置

事業を効果的に進めるため、日本語教師有資格者で地域実践活動等の経験がある人材が地域日本語教育推進員として業務に従事しました。（2名、各週3日勤務）

イ 地域日本語教育関係者連絡会議の開催

県内市町村、日本語ボランティア教室等を対象に、日本語教育に係る行政情報の伝達や情報交換、地域日本語教育に関連した研修を実施しました。

内容：事業説明（茨城県女性活躍県民協働課、茨城県国際交流協会）

地域日本語教育に関連した研修

<市町村職員向け>

開催場所：オンライン

開催日：8/23（水）、30（水）

参加：18名（8/23）、16名（8/30）

<日本語支援者向け>

開催場所：鹿行生涯学習センター、JICA筑波、県西生涯学習センター、
常陸太田生涯学習センター

開催日：9/9（土）、16（土）、23（土）、30（土）

参加：13名（9/9）、19名（9/16）、24名（9/23）、12名（9/30）

ウ 新規学習支援者の養成講座

地域日本語教育人材の確保に資するため、新たな日本語学習支援者の養成講座を全5回、1クールで2回実施しました。

<県内全域を対象>（オンライン開催）

日時：8/31（木）、9/7（木）、14（木）、21（木）、28（木）

参加人数：33名

<外国人集住地域である県西地域の2市（常総市・坂東市）を主対象>（第1～3・5回目オンライン、第4回目対面開催）

日時：10/31（火）、11/7（火）、14（火）、21（火）、28（火）

参加人数：38名

講座終了後「会ってみっ会」の開催：活動の実践を促すため、参加者同士実際に対面し、自身の町での外国人支援についての情報共有や意見交換を行う場を提供しました。

坂東市 12/12（火）18：00～20：00 坂東市役所 講座受講者5名が参加

常総市 12/14（木）18：00～20：00 常総市役所 講座受講者7名が参加

OB会の開催：年度を超えて受講者が集う機会を設けることで、地域日本語教育のこれからを一緒に考えるとともに、関心がある人々の交流を深めました。

日時：3/1（金）20:00～21:30（オンライン開催）

参加人数：28名

エ 地域日本語教育コーディネーターの育成及び人材の派遣

地域日本語教育関係者連絡会議におけるワークショップ・ファシリテーターや、ボランティア日本語教室での活動実践等を通して、体制づくり事業の普及や情報収集等を行いました。また、市町村、日本語ボランティア教室等からの要請に基づき、日本語教室立ち上げ支援等の目的に対し地域日本語教育推進員・地域日本語教育コーディネーターを派遣しました。

<地域日本語教育推進員・地域日本語教育コーディネーター会合の開催>

（地域日本語教育推進員、地域日本語教育コーディネーター同士の情報共有・意見交換の場）

開催日：4/24（月）、6/14（水）、8/2（水） 各回1～1時間半程度

<地域日本語教育推進員・地域日本語教育コーディネーターの派遣実績>

区 分		派遣回数	派遣人数（のべ）
派遣先	市町村	10回	12名
	日本語ボランティア教室	5回	6名
	合 計	15回	18名

オ 基礎日本語教育人材の養成研修【新規】

“生活者としての外国人”で日本語に通じない人を対象とした地域における基礎日本語教育の取組みを普及しました。そのため、担い手となる日本語教師を養成する研修を開催しました。

参加対象者向け事前説明会：8/19（土）13:30～14:30（オンライン開催）

研修実施形態：オンライン（最終回のみ対面）

開催日：9/2（土）・17（日）、10/7（土）・14（土）・15（日）・21（土）・
28（土）、11/11（土）、12/2（土）

参加：県内各地の日本語教師 10名

カ 基礎日本語教育モデルコースの実施【新規】

日本語でのコミュニケーションを通して、外国人・日本人を問わずすべての茨城県民が、安心・安全な生活ができることに資するため、“生活者としての外国人”で日本語に通じない人を対象とした基礎日本語教育を行いました。

対象：県内在住で日本語を母語としない16歳以上の外国籍の人。過去に日本語教育未経験で日本語に通じない人。

<オンライン開催>

開催日：10/10（火）・13（金）・17（火）・20（金）・24（火）・27（金）・31（火）、
11/7（火）・10（金）・14（火）・17（金）・21（火）・24（金）

参加：県内各地の外国人 13名

<対面開催（神栖市）>

開催日：10/26（木）・27（金）・11/2（木）・9（木）・10（金）・17（金）
・24（金）、
12/1（金）・7（木）・8（金）・14（木）・15（金）・22（金）

参加：県内各地の外国人 6名

キ 自治体向けやさしい日本語講座の実施【新規】

県内市町村職員を対象に、やさしい日本語講座を行う地域日本語教育コーディネーター（日本語教師）を派遣しました。

派遣先市町村（実績）：茨城町、城里町、常総市、筑西市、水戸市

ク 年度末報告会の開催

市町村、市町村国際交流推進組織、日本語ボランティア教室ほかを対象に今年度の取り組みと来年度に向けた方向性について、オンラインで報告会を開催しました。

開催日：3/6（水）14:00～15:30

内容：事業概要説明、各取組の報告、質疑応答

ケ 日本語教師向け連絡会議の開催

県内の日本語学校及び日本語教師を対象に、本事業の取組みの情報共有と、時宜にかなうこととして来年度から始まる登録日本語教員及び認定日本語教育機関の制度について、本事業の総合調整会議の構成員を講師に迎え説明と質疑応答を行う機会をオンラインで設けました。

開催日：3/14（木）19:00～21:20

講師：西原 鈴子 氏（NPO法人日本語教育研究所 理事長）

伊藤 秀明 氏（筑波大学人文社会系 准教授）

参加日本語教師 38名

② 外国人相談体制の充実

在県外国人が生活する上での疑問や問題を解決するため、弁護士会などの協力のもと、法律、労働、教育、婚姻など生活全般について年間を通じ相談事業を行いました。

・対応言語：日本語、英語、中国語、ポルトガル語、タイ語、タガログ語、スペイン語、韓国語、インドネシア語、ベトナム語、シンハラ語 他

・相談件数：942件

<相談件数内訳>

項 目	件 数	割 合
出入国管理・在留カード	142 件	15.1%
労働関係・雇用・労災	69 件	7.3%
起業・会社設立・貿易	3 件	0.3%
結婚・離婚、夫婦、親子、家族	101 件	10.7%
国籍・帰化	8 件	0.9%
留学・研修	1 件	0.1%
医療関係	27 件	2.9%
社会保障・年金・保険	36 件	3.8%
税金	13 件	1.4%
教育、文化	25 件	2.7%
住居・くらし、交通・免許	137 件	14.5%
言語・翻訳・通訳	249 件	26.4%
案内・問い合わせ	126 件	13.4%
その他	5 件	0.5%
合 計	942 件	100.0%

◇無料弁護士相談の実施

毎月 2 回、高度な法律の相談について、弁護士相談を実施しました。

相談形式：対面方式またはオンライン（Skype、LINE、Messenger）

- ・実施場所：水戸市（茨城県国際交流協会 相談室）
- ・対応弁護士：2 名
- ・実施回数：24 回
- ・相談件数：57 件

◇休日無料法律相談の実施

ア 県南地域における休日出張専門家相談の実施

県南地域において、茨城県弁護士会及び土浦市と共催で、多言語による休日出張専門家相談を実施しました。茨城県外国人材支援センターと連携し、弁護士のほか、行政書士・社会保険労務士とも相談ができる体制を整えて実施しました。

- ・実 施 日：令和 5 年 9 月 3 日（日）
- ・実施場所：土浦市役所本庁舎 2 階 研修室 1・2
- ・相談言語：日、英、中、タガログ、ポルトガル、スペイン、シンハラ語
- ・相談対応者：弁護士 4 名、社会保険労務士 1 名、行政書士 1 名、協会相談員 8 名、語学サポーター 3 名
- ・相談件数：26 件
- ・共 催：茨城県弁護士会、土浦市、茨城県外国人材支援センター

イ 県西地域における休日出張弁護士相談の実施

県西地域において、関東弁護士会連合会及び茨城県弁護士会、筑西市と共催で、多言語による休日出張弁護士相談を実施しました。

- ・実 施 日：令和 5 年 11 月 26 日（日）

- ・実施場所：しもだて地域交流センター「アルテリオ」
- ・相談言語：日、英、中、ポルトガル、スペイン、ベトナム、ベンガル語
- ・相談対応者：弁護士5名、協会相談員10名、語学サポーター1名
- ・相談件数：19件
- ・共 催：茨城県弁護士会、関東弁護士会連合会、筑西市

ウ 鹿行地域における休日出張専門家相談の実施【新規】

鹿行地域在住外国人を対象に、茨城県弁護士会と共催で、多言語による休日出張専門家相談を実施しました。弁護士、行政書士・社会保険労務士との相談のほか、医師による医療相談を追加して対応しました。

- ・実施日：令和6年1月28日（日）
- ・実施場所：神栖市中央公民館
- ・相談言語：日、ポルトガル、スペイン、インドネシア語
- ・相談対応者：弁護士3名、社会保険労務士1名、行政書士1名、医師3名、協会相談員9名
- ・相談件数：11件
- ・共 催：茨城県弁護士会
- ・協 力：神栖市、茨城県外国人材支援センター、白十字総合病院

◇相談員研修の実施

- ・専門的な知識を蓄積することや相談対応についての検証等を目的に研修を実施しました。
- ・相談センター相談員研修の実施 10回（外部講師による講義2回、ビデオ視聴2回）
外部講師： ①東京出入国在留管理局在留支援部門 受入環境調整担当官入国審査官
②茨城県保健医療部健康推進課 地域包括ケア推進室「介護保険制度について」
ビデオ視聴： ①法テラスセミナー「交通事故の基礎知識」
②法テラスセミナー「お金の心配事と法的支援」

③ 多文化共生のためのサポーターバンクの運営

多文化共生の地域づくりを推進するため、語学ボランティアや日々の生活へのアドバイスをしてくれる人材を発掘し登録することで外国人の支援者拡大を図りました。

◇サポーターバンクの登録推進

外国人支援のための「語学サポーター」、「災害時語学サポーター」、「医療通訳サポーター」、「外国人のための地域生活アドバイザー」や相互理解を進めるための「各国事情紹介講師」、「ホームステイ・ホストファミリー」等の人材登録を推進し、活用を図りました。

<登録活動状況>

区 分	登録状況	活動状況
語学サポーター	32 言語 311 名	12 件 66 名
医療通訳サポーター	20 言語 128 名	0 件 0 名
災害時語学サポーター	22 言語 172 名	0 件 0 名
外国人のための地域生活アドバイザー	50 名	14 件 14 名
各国事情紹介講師	208 名	32 件 47 名
ホームステイ・ホストファミリー	89 名	1 件 9 家庭
合 計	延べ 958 名	59 件 127 名 9 家庭

④ 災害時・緊急時の在住外国人支援体制の充実・強化

災害時・緊急時において、言葉や文化の違いにより避難に支援が必要な外国人へ適切な支援を

行うため、災害時外国人支援研修等への参加及び災害時の広域連携体制の強化を図りました。

◇災害時外国人支援研修（全国、県域）

ア 災害時に外国人支援に従事する関係者向けの研修・訓練事業

- ・主 催 者：（一財）自治体国際化協会
- ・実 施 日：令和5年9月15日（金）13：00～16：30
- ・場 所：東京体育館 第一会議室
- ・内 容：①マイ・タイムライン講習会
②発災前の備えに関する取組共有等
③グループディスカッション(今後の取組に向けた意見交換等)

イ 令和5年度災害時外国人支援研修（実践研修）

- ・主 催 者：茨城県
- ・実 施 日：令和5年11月21日（火）10：30～16：00
- ・場 所：アダストリア みと アリーナ
- ・内 容：多言語支援センター設置運営訓練、避難所巡回訓練等

◇広域での連携による災害時の支援体制の整備

関東地域国際化協会連絡協議会との協働により、広域連携による災害情報の多言語翻訳シミュレーションを実施しました。

- ・実 施 日：令和5年11月29日（水）10：00～16：00
- ・場 所：各協会（メール対応）
- ・内 容：大型台風が発生したことを想定し、（一財）地域国際化協会の関東地域国際化協会連絡協議会内で被災状況や多言語支援センター設置状況の確認と翻訳支援連携を行いました。

◇在住外国人向け水害から命を守る研修（マイ・タイムライン検討ツールの活用・普及）【新規】

国土交通省下館河川事務所が主催し、水害時、外国人がマイ・タイムラインにより自分で避難できることにつなげるための研修について、当協会が企画への協力を行いました。鬼怒川・小貝川流域市町の日本語ボランティア及び外国人が研修を受けました。

- ・実 施 日：10/15（日）10：00～12：30（日本語ボランティア対象）
10/29（日）10：00～12：00（日本語ボランティア教室に通う外国人を対象に、10/15に受講した日本語ボランティアが講師役を行いました。）
- ・意見交換会：12/21（木）18：30～20：15（10/29講師役を務めた方対象）
- ・参 加 者：下妻市、筑西市、つくばみらい市、八千代町、結城市の日本語ボランティア教室

⑤ ウクライナ避難民支援【継続】（受託）

茨城県では、ロシアのウクライナへの軍事侵攻に伴い、ウクライナから県内に避難された方々や避難をお考えの方への支援を継続しています。当協会では、日本語教育支援、日常生活支援、支援に関する問合せ・生活相談対応を行いました。

項 目	内 容	件 数
日本語教育支援	日本語学校授業料の支給	0件
生活支援①	モバイルAI翻訳機の無償貸与	3件
生活支援②	通訳の派遣、翻訳依頼	3件
相談・問合せ	支援内容に関する問合せや相談	6件

2 グローバル交流・協力の推進

(1) 国際活動情報の提供

① 機関誌やホームページ等を活用した情報提供

県民のグローバル交流を活性化するために、海外の情報や、国際機関、県、各種団体等の国際交流情報を集積・提供しました。

◇機関誌「ふれあい茨城」の発行

協会や民間国際交流・協力団体の活動や、国際理解を推進するための情報を紹介する機関誌を発行しました。

・発行時期：年2回（9月、3月）

・発行部数：各4,000部

◇ホームページによる情報提供

当協会の事業、及び県内の国際交流活動団体の情報を集積・発信するとともに、随時県内外の国際活動関連の記事やイベント情報等を発信しました。

◇インターナショナルライブラリーの運営

国際交流、国際理解、日本語教育、国際協力等、国際活動に関わる雑誌、図書等の収集及び貸出しをおこなっておりますが、今年度の貸し出しはありませんでした。

(2) 国際交流・協力の推進

① 県民の国際交流活動の推進

県、市町村、市町村国際交流推進組織、民間国際交流協力団体等との連携により、県民の国際交流活動への参加を促し、活動の充実を図りました。また、外国人が住みやすい環境を整備するために、関連機関と連携し地域住民と外国人との交流を推進しました。

◇国際交流・協力ネットワーク会議の開催

民間国際交流・協力団体や市町村の国際交流担当者等を対象に活動の情報交換及び研修を実施しました。

・開催日：令和5年7月13日（木）

・場所：ザ・ヒロサワ・シティ会館分館 集会室8号・10号、協会研修室

・対象：市町村、市町村国際交流協会、民間国際交流・協力団体、日本語ボランティア教室等

・参加者：115名

・内容：1)基調講演

「我々は進化する争いにごどう対峙するか？～戦争と平和の最前線からの報告～」

講師：認定NPO法人 REALs（リアルズ） 理事長 瀬谷 ルミ子 氏

2)分科会

第1分科会：多文化共生ネットワーク会議

「ドイツ／フランスの多文化共生について」

発表者：守谷市国際交流員（CIR） レーツ・シュテファニー 氏

茨城県国際交流員（CIR） ジャワ・セイフェン 氏

第2分科会：グローバル交流ネットワーク会議

「ボランティア活動における地域課題の発見と打ち手を考える」

発表者：JICA海外協力隊茨城県OV会会長、アリストテレスの窓代表

石森 和磨 氏

第3分科会：日本語ボランティアネットワーク会議

「地域日本語教育の“あるある”シミュレーションゲームと情報交換」

◇茨城県国際交流協会事業ボランティアの登録・活用

協会が主催する各種事業（外国人による日本語スピーチコンテスト等）に協力を得られるボランティアの登録を促進し、協会事業の円滑な運営を図りました。

・登録者数 31名

② 国際協力活動の推進

（独）国際協力機構筑波センター（以下「JICA筑波」）と連携し、途上国支援等国際協力に関する事業を行いました。また、海外の自然大災害時の被災国支援やNGO活動の支援を行いました。

◇JICA海外協力隊等、国際協力への参加促進

◇義援金の募集

海外で発生した大規模自然災害について、「NGO茨城の会」と協働で銀行に義援金口座を開設するなど募金活動を行い、支援団体へ寄付しました。

ア トルコ・シリア地震被災者緊急支援義援金

内 容：「NGO茨城の会」との協働による振込用口座開設

実施期間：令和5年2月10日（金）～令和5年4月10日（月）

団体名	現地での活動内容	寄付額 (円)
日本赤十字社茨城県支部	トルコ、シリアでの避難所支援、救援物資配布、保健医療支援、食事の提供、障がい者支援、看護師、薬剤師の派遣、医薬品の提供	1,040,392
（特活）難民を助ける会	トルコシヤンウルファ県、アドウヤマン県、カフラマンマラシュ県、ハタイ県での避難所への食糧支援、衛生用品の配布、避難所の改善支援、障がい者支援	1,040,392

イ モロッコ地震及びリビア洪水被災者緊急支援義援金の募集

内 容：「NGO茨城の会」との協働による振込用口座開設及び街頭募金の実施

実施期間：令和5年9月25日（月）～令和5年11月24日（金）まで

街頭募金：令和5年9月24日（日）

水戸駅南口ペDESTリアンデッキ

募金額：13,986円

	団体名	現地での活動内容	寄付額 (円)
モロッコ地震	（特活）難民を助ける会	越冬支援物資等の配布、衛生促進 （避難所のトイレの建設）	84,137
モロッコ地震	（特活）ピースウィンズ・ジャパン	救援物資支援、医療施設運営支援、被災動物支援	84,137
リビア洪水	日本赤十字社	被災者の捜索、救援、復興支援	168,274

ウ アフガニスタン地震被災者緊急支援義援金の募集

内 容：「NGO茨城の会」との協働による振込用口座開設

実施期間：令和5年11月8日（水）～令和5年12月22日（金）

団体名	現地での活動内容	寄付額 (円)
(公社) シャンティ国際ボランティア会	ヘラート県ジンダジャン郡での、学校が被災して教育が受けられない児童・生徒への教育文化支援、被災した子への心理的、精神的ケア支援	76,031
(特活) ピースウィンズ・ジャパン	ヘラート県ジンダジャン郡およびその周辺部での生活必需品購入支援、生活物資・食料の配布	76,031
(特活) 難民を助ける会	ヘラート県ジンダジャン郡での被災者への食糧支援、越冬支援	76,031

3 グローバル社会へ向けた人づくり

(1) 国際理解を推進するための事業実施体制の整備

① 県や関係機関との横断的連携体制の整備

国際理解を推進するために県や関係機関との横断的連携体制をとるとともに、留学生や在住外国人及びファシリテーター等国際理解をすすめる人材の発掘・育成を図りました。また、教材収集など事業実施体制を整備しました。

◇茨城県国際理解教育推進協議会の運営

当協会、県、県教育委員会、JICA筑波、大学留学生協議会等関係8団体による協議会を運営し事業を効果的に行いました。

- ・幹事会：令和5年7月28日（金）
- ・総会：令和6年3月11日（月）

◇茨城県留学生親善大使の任命

県内の留学生を茨城県留学生親善大使に任命し、国際理解事業や国際交流事業に派遣することにより、県民の国際活動を推進しました。

- ・任命期間：令和5年6月から2年間
- ・対象：県内大学等に在籍する留学生
- ・令和5年度登録者：18カ国97名
- ・任命式 令和5年6月24日（土）
- ・ワールドキャラバン派遣者数 延べ10名

◇いばらき応援大使の任命

独立行政法人日本学生支援機構が設置・運営する東京国際交流館（東京都江東区）に入居する外国人留学生をいばらき応援大使として任命しました。茨城県留学生親善大使向けの事業に参加し、本県の魅力理解や県民との国際交流を行いました。

- ・任命期間：令和5年10月から令和6年3月まで
- ・対象：東京国際交流館に入居する外国人留学生等
- ・任命式：令和5年10月14日（土）
- ・令和5年度登録者 11カ国12名（インド、インドネシア、エチオピア、スウェーデン、中国、フィリピン、フランス、ポーランド、ミャンマー、モンゴル、ロシア）

◇国際理解教材収集・貸出しの実施

県内の国際理解教育を実施するため、各国からの教材を収集し貸出しを行いました。

- ・対象：県内学校、国際理解教育を行う民間団体等
- ・教材数：105カ国 887点
- ・収集内容：国旗、民族衣装、工芸品、図書等
- ・貸出実績：16回

◇県産品を使った外国人による料理ミーティング

茨城県留学生親善大使等の有志が中心となり、「クオリテ Lab」(茨城県農業協同組合中央会)において、県産食材を活用した母国料理等を手作りした様子を動画撮影し、JA グループ茨城公式チャンネルで公開しました。(茨城県農業協同組合中央会との連携事業)

ア 第1回

- ・実施日：令和5年6月17日(土) 12:00~15:00
- ・内 容：ウクライナの定番料理(ボルシチ、ムリンツィ、ウズヴァールほか)
- ・参加学生：6名(ウクライナ)

イ 第2回

- ・実施日：令和5年12月9日(土) 10:00~13:00
- ・内 容：季節にちなんだ日本の定番料理(鶏鍋、田作り、手巻き寿司ほか)
留学生からのリクエストを受け、留学生にとっての外国料理として日本の冬の定番料理作りと試食で各国留学生が交流しました。
- ・参加学生：11名(韓国、中国、フィリピン、ブラジル、ベトナム、ミャンマー、ロシア)

(2) 相互理解・国際理解の推進

① 県民の国際感覚醸成

互いの生活、文化、習慣の違いを認識し、外国人と地域住民が協力して多文化共生地域づくりをすすめられるよう県民の国際感覚を醸成し、相互理解・国際理解を促進しました。事業の実施にあたっては留学生親善大使や県内に在住する外国人の活用を図りました。

◇ワールドキャラバン国際理解教育講師等派遣事業の実施

外国人講師及びファシリテーター等を学校や生涯学習の場に派遣し、異文化に触れたりワークショップを体験したりするなど国際理解教育の機会を提供しました。

- ・時 期：令和5年9月~令和6年2月
- ・場 所：県内学校、生涯学習関連団体活動場所等
- ・講 師：留学生、国際交流員、県内在住外国人、海外国際活動経験者及び当協会登録ファシリテーター等

＜ワールドキャラバン国際理解教育講師等派遣事業派遣実績＞

区 分		派遣回数	参加者数
派遣先	小 学 校	13回	905名
	中 学 校	3回	94名
	高等学校(含 中等教育学校)	14回	1422名
	特別支援学校	11回	278名
	生涯学習関連施設等	25回	773名
	合 計	66回	3472名
派遣講師数		114名	
派遣コーディネーター数		14名	

◇外国人による日本語スピーチコンテスト

在住外国人の日本社会への意見などを聞くことで県民との相互理解を図るとともに、外国人に日本語による意見発表の機会を提供することで日本語学習意欲を醸成しました。

- ・開 催 日：令和6年2月17日(土)

- ・場 所：ザ・ヒロサワ・シティ会館 小ホール
- ・発 表 者：県内在住外国人 15 名
- ・本 審 査：知事賞、県議会議長賞、教育長賞、ひばり賞、特別賞（審査員 7 名により審査）
特別荣誉賞 日本語ボランティア賞、若人賞

◇世界文化セミナー

本県在住の外国人を講師として迎え、文化・社会について話し合いをする英語によるセミナーを実施しました。※午後クラスー対面 夕方クラスーオンライン開催

- ・開 催 日：春期：4 月～7 月（水曜 夕方クラス・金曜 午後クラス 各 8 回）
秋期：10 月～2 月（水曜 夕方クラス・金曜 午後クラス 各 8 回）
- ・対 象：県民

春 期	令和 5 年 4 月 5 日（水）～7 月 14 日（金） 全 8 回 （参加者 午後クラス 31 名、夕方クラス 17 名）
秋 期	令和 5 年 10 月 4 日（水）～令和 6 年 2 月 2 日（金） 全 8 回 （参加者 午後クラス 31 名、夕方クラス 11 名）

◇フランス語入門講座

若い世代の県民に対し、語学学習を通して多文化共生社会づくりへの誘いをねらいとして、ネイティブ講師が国連公用語のひとつフランス語の講座をオンラインで開催しました。

- ・開 催 日：8 / 2（水）、4（金）、9（水）、18（金）、23（水）、25（金）
各日ともに 15 : 00～16 : 30
- ・参 加 者：高校生 5 名、大学生 1 名

◇県域ラジオ放送番組への協力

茨城に住む外国人が増えている中、リスナーに国際文化を知ってもらう新コーナーが開設されることになり、番組スタッフからの依頼に応じて、当協会登録の県内在住外国人がゲストとして出演しました。（12 月スタート、月 1 回程度）

- ・12 / 11（月）インド、1 / 22（月）中国、3 / 4（月）ペルー

② 世界で活躍する人材の育成

特に若い世代の活動を支援し、将来世界で活躍する人材の育成を図るために、海外研修や国際体験を促進するための事業を実施しました。

◇高校生のための地球市民講座の開催（共催）

高等学校や J I C A 筑波と連携し、高校生を対象にワークショップ等を通して国際協力への理解を深めました。

- ・開 催 日 令和 5 年 9 月 13 日（水）
- ・場 所 J I C A 筑波
- ・対象者 県内の高校生
- ・内 容 J I C A 海外協力隊体験談・施設見学・研修員との交流、
ワークショップ等
- ・講 師 J I C A 海外協力隊経験者、協会登録ファシリテーター
- ・参加者 56 名

◇日本発／世界発 青年のメッセージ

茨城県高等学校国際教育研究協議会が実施する国際教育弁論大会にあわせて、当協会が留学生によるシンポジウムを主催することで、日本の若い世代へのメッセージを発信しました。

- ・開 催 日：令和 5 年 12 月 13 日（水）
- ・場 所：ザ・ヒロサワ・シティ会館 小ホール

- ・対象者：県内高校生及び県民
- ・内容：
 - 第1部 第20回国際教育弁論大会（発表者10名）
 - 第2部 留学生シンポジウム
 - 3ヶ国からの留学生の日本語によるトークと日本の高校生と若者に向けたメッセージの発表
 - 留学生3名：中国、韓国、マレーシア
 - コーディネーター：ダフェル マッシュー 先生（茨城県立鉾田第一高等学校）

◇インターンシップ等の受け入れ

日本人学生、外国人留学生等を対象に当協会においてインターンシップ研修を実施しました。

ア 第1回

- ・受入人数：茨城大学生 2名（県女性活躍・県民協働課インターンシップ生）
- ・実施日：令和5年8月17日（木）
 - （女性活躍・県民協働課受け入れ3日間のうちの半日）
- ・内容：協会の事業概要の説明、協会職員との意見交換等

イ 第2回

- ・受入人数：勝田中等教育学校生徒 3名
- ・実施日：令和5年8月21日（月）
- ・内容：国際交流に関わる仕事の体験、国際経験豊富な職員の講話等

◇海外研修の実施

大学生等を対象とし、将来世界で活躍する人材や地域で国際交流を推進する人材を育成するため、海外研修を企画する予定でしたが、茨城空港から派遣予定先の中国・上海への航空便運休決定ほか社会情勢を勘案し、中止いたしました。

③ 外国人留学生の多様な社会体験機会の提供

留学生の活動を支援することで、将来地域社会に貢献し本県との架け橋となる人材の育成を図りました。

◇外部機関との連携協定締結によるさらなる留学生等への茨城の魅力発信及び多文化共生の推進と協会の社会的認知度向上

J A茨城県中央会と包括連携協定を締結しました。

- ・締結日：令和5年6月12日（月）
- ・出席者：茨城県農業協同組合中央会 代表理事長 八木岡 努
公益財団法人茨城県国際交流協会 理事長 根本 博文
- ・趣旨：相互連携と協働による活動を推進することにより、県内留学生等に対し、本県農産物の質と魅力を周知するとともに、食を通じた国際交流と相互理解を図り、もって茨城農業の進展と多文化共生社会づくりに資することを目的とする。
- ・関連事業：クエスト茨城留学生研修、世界の料理ミーティング

◇留学生親善大使による茨城県知事表敬訪問

留学生親善大使を代表して6名が茨城県庁にて大井川県知事表敬訪問を行い、茨城の印象や留学生親善大使としての地域での国際理解活動への抱負などを語りました。

- ・実施日：令和5年7月14日（金）
- ・場所：茨城県庁行政棟5階 知事応接室
- ・面会者：留学生親善大使6名（国籍：中国、ミャンマー、ネパール、ベトナム）

◇クエスト茨城留学生研修

県内で学ぶ留学生を対象として、茨城県に立地する企業、文化施設、史跡などを訪問し、茨城県についての理解を深めました。

ア 第1回

- ・実施日：令和5年7月8日（土）
- ・参加人数：28名
- ・訪問場所：株式会社照沼、アクアワールド茨城県大洗水族館

イ 第2回

- ・実施日：令和5年11月18日（土）
- ・参加人数：24名
- ・訪問場所：ポケットファームどきどき つくば牛久店、境警察署

◇茨城ふるさとファミリー事業

留学生や在県外国人が当協会登録のボランティアの家庭にホームステイをすることをきっかけに継続的交流をし、「茨城の家族」を作る場を提供しました。

- ・実施日：令和5年9月30日（土）・10月1日（日）
- ・対象者：茨城県留学生親善大使等14名、外国人指導助手等5名（計9ヵ国19名）
- ・受入実績：17家庭

◇茨城県外国人材支援センターとの連携

県として外国人材の受入促進を図る中、外国人及び県内企業向けに外国人材の就労支援や就労環境整備等の支援を行う茨城県外国人材支援センターとの連携を深めることで、日本での就職を希望する留学生等への円滑な情報提供等が行えるように、茨城県外国人材支援センターとの定期的な情報交換の機会を設けました。

- ・実施日：7/19（水）、8/29（火）、10/4（水）、11/15（水）、
12/14（木）、1/17（水）、2/16（金）、3/13（水）

◇在ナ米県人子弟次世代ビジネスリーダー招へい事業【新規】（受託）

在外県人会の子弟である次世代ビジネスリーダーとして招へいされた研修生を支援し、移住国における社会的・文化的・経済的地位の向上、日本語・日本文化の継承及び日本と移住国の文化・経済交流等の推進を図りました。

- ・受入期間：令和5年9月20日（水）～令和6年12月末日（予定）
- ・受入人数：2名

◇県のモニターツアー等への留学生の参加調整

台湾人大学生との国際交流バスツアー

留学生が県内で職場インターンシップを行う台湾人大学生とバスで茨城県内を観光し、茨城の魅力を体験しました。

- ・実施日：令和5年6月15日（木）
- ・主催：茨城県 営業戦略部 国際観光課
- ・申込人数：10名（留学生）
- ・訪問場所：笠間焼窯元、笠間稲荷神社、いばらきフラワーパーク、酒造会社（水戸市）

◇外部機関主催イベントへの外国人参加要請協力

雅 千人きもの

留学生が浴衣や着物を着用して、歴史ある水戸の街並みを散策することで新たな魅力を発見し、着物のコンテストに参加することで日本の伝統文化である和服への理解を深めるとともに、県民の方々との交流を行いました。

- ・実施日：令和5年9月23日（土）～24日（日）
- ・参加人数：8名
- ・場所：水戸城 大手門周辺、水戸市民会館

竜神ダムクルーズ モニターツアー

県内でのインバウンド受入強化に向け、外国人ツアーガイドの育成に取り組む団体が主催するモニターツアーに留学生が参加し、茨城の観光アクティビティの魅力を発見しました。

- ・実施日：令和5年11月23日（木・祝）
- ・参加人数：3名
- ・場所：竜神ダム

4 上海事務所運営事業

ゼロコロナ政策が終了したことにより、各種の展示会やイベントもコロナ前のように開催されるようになりました。

一方で、本県の産業拡大に向けた中国企業の誘致にも注力しており、中国地方政府や現地企業との連携を進めています。

(1) 本県産業拡大への支援

見本市への出展等により、本県の観光物産、県産品や茨城空港のPRを実施したほか、対日投資促進に向けたPR活動を実施しました。

【主な出展行事等】

① 上海旅行産業博覧会

- ・開催日：令和5年5月29日（月）～6月1日（木）
- ・場所：国家会展中心（上海市）
- ・内容：アウトドアを中心とした県内観光地や県産品（笠間焼等）のPRを実施

② ジャパンブランド武漢

- ・開催日：令和5年7月22日（土）～7月23日（日）
- ・場所：イオンモール武漢金銀潭（湖北省武漢市）
- ・内容：アウトドアを中心とした県内観光地や県産品（笠間焼等）のPRを実施

③ 日本聖地巡礼講演会（在上海日本国総領事館主催）茨城県ロケ地観光PR

- ・開催日：令和5年8月12日（土）
- ・場所：在上海日本国総領事館（上海市）
- ・内容：日本のアニメ・映画・テレビ作品の聖地巡礼に係る講演会で茨城県のロケ地観光のPRを実施

④ ジャパンブランド寧波

- ・開催日：令和5年8月26日（土）～8月27日（日）
- ・場所：寧波東急（浙江省寧波市）
- ・内容：アウトドアを中心とした県内観光地や県産品（笠間焼等）のPRを実施

⑤ 浙江省企業訪問

- ・開催日：令和5年9月6日（水）～9月7日（木）
- ・場所：浙江省紹興市内
- ・内容：対日投資に意欲のある企業を訪問し、本県のビジネス立地の優位性のPRを実施

⑥ 青島ジャパンデイ

- ・開催日：令和5年10月28日（土）～10月29日（日）
- ・場所：イオンモール青島西海岸新区（山東省青島市）
- ・内容：アウトドアを中心とした県内観光地や県産品（笠間焼等）のPRを実施

⑦ 浙江省企業訪問

- ・開催日：令和5年11月5日（日）～11月7日（火）

- ・場 所：浙江省玉環市内
- ・内 容：対日投資に意欲のある企業を訪問し、本県のビジネス立地の優位性の PR を実施

⑧ 上海ジャパンブランド

- ・開 催 日：令和6年1月13日（土）～1月14日（日）
- ・場 所：LaLaport 上海金橋（上海市）
- ・内 容：アウトドアを中心とした県内観光地や県産品（笠間焼等）の PR を実施

（2）企業のビジネス活動への支援

現地バイヤーとのマッチングや中国の経済事情の調査等を実施し、県内企業の中国における販路開拓を支援しました。

【主な出展行事等】

① 笠間焼香炉製作アンケートイベント

- ・開 催 日：令和5年4月21日（金）
- ・場 所：上海環球金融中心（上海市）
- ・内 容：笠間焼香炉（向山窯オーダーメイド）に関する嗜好調査

② 笠間焼販売促進イベント

- ・開 催 日：令和5年8月19日（土）～9月2日（土）
- ・場 所：重慶青山スクエア（重慶市）
- ・内 容：重慶青山スクエアとの共催で笠間焼の販売促進イベントを開催しました。

③ 笠間焼香炉発表イベント

- ・開 催 日：令和6年1月23日（火）
- ・場 所：重慶総領事館公邸（重慶市）
- ・内 容：青山スクエアと共同開発した贈答用の笠間焼香炉の発表会を開催しました。

（3）日中友好交流活動への支援

中国事情に関する情報提供を実施しました。

（4）上海ネットワークの構築

① 上海茨城県人会運営協力

上海市等に在住している本県出身者のネットワークを新たに茨城の PR 組織として位置付け、中国人との交流を図ることで、観光インバウンド促進や県産品の知名度向上、対日投資促進につなげています。

② 上海茨城留学生協議会運営協力

本県への留学経験者のネットワークを新たに茨城の PR 組織として位置付け、上海茨城県人会と連携した活動を展開しています。

（5）情報収集・提供事業

中国人向けに、ソーシャルネットワーク「ウェイボー 微 博」「ウィーチャット 微 信」を活用した情報発信を実施しました。

- ・微博フォロワー数：108,333人、微信フォロワー数：8,390人（令和6年3月末現在）